

全日遊連理事会

APEC
入替自粛

ホール5団体中4団体でメーカー等に要請文

パチンコ機外枠の共通化をホール5団体で日工組に要請

全日遊連(原田實理事長)は7月21日、東京・新橋の「第一ホテル東京」で理事会を開催(一部前号既報、18ページに関係記事)。警察業務軽減への協力とCO2削減を目的としたAPEC遊技機入替自粛について、全日遊連だけではなく他団体の協力が必要と交渉が進められていたが、ホール5団体のうち余暇進(余暇環境整備推進協議会)だけが、日工組、日電協、全商協、回胴遊商の4団体に提出する協力要請の文書に名を連ねることを拒否。全日遊連、日遊協、同友会、PCSAのホール4団体連名で、7月12日付けで提出したことが報告された。

6月に開催された通常総会の第1回理事会で常設5委員会への理事、参事のメンバー構成が決まり、その後の委員会開催で委員長、副委員長を互選。この日の理事会では暴力団対策特別委員会と遊技シ



全日遊連の理事会

ステム特別委員会の委員構成について、(前号既報の通り遊技システム特別委は否決されたが)暴力団対策特別委だけ承認された。同特別委は暴力団行政で重要な県の組合の専務理事(警察OB)で構成されている。各委員会の一覧は次ページの表のとおり。

来年の「第21回全国パチンコ・パチスロファン感謝デー」は11月18日(金)から20日(日)まで3日間の開催で決定。今年4月の理事会で承認されたとおり(今年の開催から)非組合員は事務手数料5000円を加えた1セット8万2000円、組合員は従来通りの7万7000円で実施。企画案コンペ参加を打診する商社は東急百貨店(今年の幹事商社)、大丸松坂屋、さとう西武、JTB法人東京、凸版印刷の5社。11月18日の理事会で最終選考のための企画案コンペを実施し幹事商社が決定される。

創立記念行事を平成24年1月から3月の間に開催

全日遊連創立記念行事については3月の理事会で提案し、各県から意見を募ったが出なかった。名称は主題が「全国遊技業組合結成60年」で副題が「全日遊連創立20周年」。全国遊技業組合結成60年としたのは、最初の全国組織である任意団体の全遊連が設立された昭和26年12月を起点に、協同組合の全遊協、そして全日遊連という歴史を示す。全日遊連は平成4年1月に設立され24年が20周年なので開催時期は24年1月から3月の間を予定。異議なく承認された。

7月1日に承認された4団体代表者懇談会(全日遊連、日遊協、日工組、日電協)では5項目協議したことを報告。1番目はAPEC入替自粛の協力願いの文書を6月24日に他のホール4団体に、25日に日工組、日電協、全商協、回胴遊商に出して、ここでも協力を求めた。リカバリーサポートネットワーク(RSN)に対する支援については他の3団体が基本的に合意。

日電協と回胴遊商が提唱する「8月4日はパチスロの日」について

は、両団体が作成したポスター(とチラシ)をホールが貼付することと合意。4番目は昨年1月に締結した「4団体合意」等の問題で、厳格な運用を強く申し入れた。

最後の5項目目はパチンコ機の外枠の共通化の問題。各メーカー独自の外枠は入れ替え時にも手間が「多大なコストと労力を要するだけでなく、このことにより年間約4000トンもの木材が廃棄されており、環境問題の観点からも早急に共通化を図ってほしい」という趣旨の文書をホール5団体連名で日工組に提出し、要請した。

RSNへの支援、21世紀で行いようを合意

4団体代表者懇談会のあと、同日に開かれた業界14団体の21世紀会では入替自粛、RSN支援、パチスロの日の3点を協議。RSNについては21世紀会として支援する合意が得られ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協の4団体の事務局間で詳細を詰め、支援策をまとめて21世紀会で了解を得るといふ。4団体代表者懇談会と21世紀会についての報告はこま。

理事会のAPEC入替自粛の他団体への協力要請についての議題で

は、6月24日に他のホール4団体に、25日に日工組、日電協、全商協、回胴遊商に協力要請文を送付し、前出の4団体代表者懇談会と21世紀会でも協力を求めたことを報告。

理事会後の記者会見で西俊文事務局長は「ホール5団体としてまとまってメーカー、版社に対して要請しようとして進めてきたが、(6月16日のホール5団体事務局連絡会で)余暇進だけは組織として(協力要請文の)連名に名を連ねることはできないという回答をいただき、残念だったが、日遊協、同友会、PCSA、全日遊連の4団体の連名で、7月12日にメーカー系4団体(日工組、日電協、全商協、回胴遊商)に協力要請した」と説明した。全日遊連では入替自粛のポスターを作成し、9月中旬にホールに届くように準備を進めている。

業界7団体のセキュリティ対策委員会の報告では、平成21年7月29日にホームページにメールによる攻略法相談窓口を開設した結果、6月20日までに114件の相談があったとのこと。攻略誌等ファン向け雑誌社数が攻略法詐欺防止を目的に連絡会(仮称)を立ち上げる予定で、同委員会でもどのように協力できるか協議しているという。

業界6団体の中古機流通協議会の報告では、6月から開始された新制度で文書様式の記入方法等に各警察署、各地区遊商、各版社で違いがあったことから、同協議会で改めてさらに詳細な記入見本を作成して警察庁や各団体に配布。これで解消されるとみられている。